

乳癌(進行・再発)

1st, 2nd, 3rd Line

Pertuzumab+trastuzumab+DTX療法 (導入)

()コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース21日

使用基準: 開始時; class A、2回目以降; class B

使用薬剤: ペルツズマブ: ペルツズマブ (1V: 420 mg)

トラスツズマブ: トラスツズマブ (1V: 150mg, 60mg)

ドセタキセル (DTX): ドセタキセル点滴静注 (1V: 20mg、80mg)

※ 投与前~投与中の心機能異常に要注意

※ Infusion Reaction に要注意

投与中又は投与開始後24時間以内に多く現れるInfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用 (気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促迫症候群等) の発現の報告あり。

Infusion reactionが高頻度で発現する点滴開始後2時間以内は特に要注意。

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
ペルツズマブ	840 mg/body	840		1
トラスツズマブ	8 mg/kg	#VALUE!		1
ドセタキセル	75 mg/m ²	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1

1月1日 (金)

- 0時00分 ① 生理食塩液 50mL
血管確保用で速度適宜にて点滴静注
- 0時15分 ② 生理食塩液 250mL + ペルツズマブ mg 0.00 ml
60分で点滴静注
- 1時15分 ③ 生理食塩液 100mL (フラッシュ)
60分で点滴静注
(経過観察を十分におこなう)
- 2時15分 ④ 生理食塩液 250mL + トラスツズマブ mg 0.00 ml
90分で点滴静注
- 3時45分 ⑤ 生理食塩液 100mL (フラッシュ)
30分で点滴静注
(経過観察を十分におこなう)
- 4時15分 ⑥ 生理食塩液 50mL + アロキシシ 1V + デキサート 6.6mg
15分で点滴静注
- 4時30分 ⑦ 生理食塩液 250mL + ドセタキセル mg 0.0ml
要注意 60分で点滴静注
点滴開始から10分間は点滴速度を遅めに設定して、全身状態を観察する。
- 5時30分 ⑧ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)
フラッシュ

day 2

1月2日 (土) ~内服

デカドロン (4mg) 2錠
2 x (2) 朝・夕食後
ナゼアOD錠 1錠
1 x (4) 朝食後

REFERENCE

Sandra M Swain, Sung-Bae Kim, Javier Cortes, et al
Pertuzumab, trastuzumab, and docetaxel for HER2-positive metastatic breast cancer (CLEOPATRA study): overall survival result from a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 study
Lancet Oncol 2013;14:461-71

化学療法プロトコール審査委員会承認: 2013年9月9日 更新: 2016年11月17日